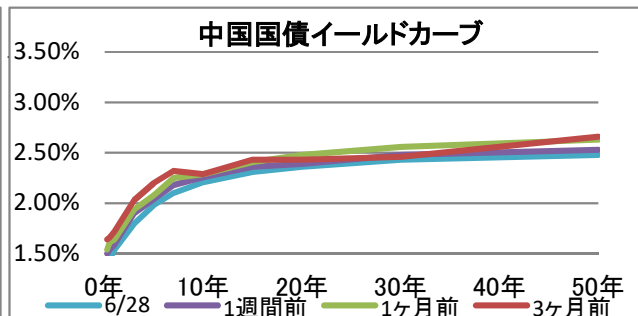
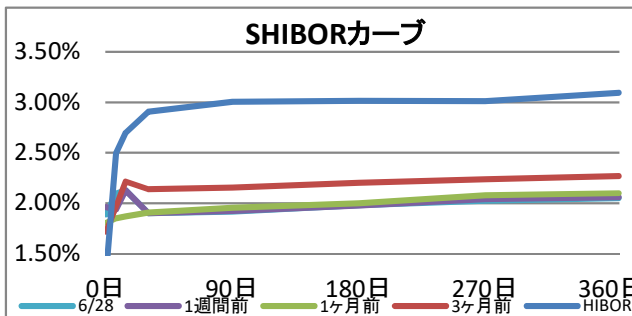


基準レート		2024/6/28	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	7.1268	+0.0072
	JPY/CNY	4.4738	-0.0444
SHIBOR	3M	1.9180%	-0.0050%
国債利回り	10年	2.21%	-0.05%
上海総合指数		2,967.40	-30.74



(1) 概況

国際金融市場では、米国の経済指標やフランスの議会選挙を控えた調整相場となり、大きな動きは見られなかったものの、金曜日にPCE物価指数の伸び鈍化を確認後に、米大統領選挙やフランス議会選挙への懸念から、債券利回りが急上昇し、株式市場も上値の重い展開が続く、外為市場は、引き続き小幅な値動きとなる中で日本円が独歩安となっている。

中国金融市場では、景気先行き懸念や安全志向から投資資金が債券市場に向かうことで債券利回りの低下が続く、株式市場は一段と下落し、外為市場では当局が小幅な元安を容認しているとの思惑も働き、1ドル7.26台で小幅に元安が進んでいる。

中国では、習主席が、科学技術関連大会でイノベーション強化に努める必要性を強調し、「平和共存五原則」記念大会では、グローバルサウス協力支援のため、関連研究センターの設立、該当の国々に対する奨学金提供、基金を通じた経済発展支援等の方針を示し、ベトナム首相との会談では、経済貿易やデジタル経済分野等での協力促進や同国進出の中国企業に対する公平なビジネス環境整備等を要請。李強総理は夏季ダボス会議で、「中国は開放された大市場、中国製EVは世界供給を豊かにし気候変動対応に貢献している」と発言し、レアアース管理条例に署名（10月1日施行）。国务院常务会议では、外資企業関連政策について重点分野の対外開放等を進める方針を示した。全人代常務委員会は、「中国会計法」の修正案を可決し、「金融安定法」の第二審議案をパブコメに付し、国家发展改革委员会は、「新たな消費成長分野の開拓等に向けた措置」を公表し、「ベンチャーキャピタルの発展促進措置」に関する記者会見では、保険等の長期資金をより活用していく方針を示した。国家金融監督管理総局は、外資系銀行等との座談会を開催し、コーポレートガバナンス、リスク管理、革新的商品、顧客管理等の優位性を活かして特徴的な発展を遂げることや内外市場を繋ぐ架け橋としての役割発揮への期待を表明し、中国人民銀行は、金融政策委員会第2四半期例会で、これまで導入した金融政策の強化、長期的な利回り変化への注意、為替のオーバーシュート防止等に言及し、科学技術向け金融サービスで堅実な業務を遂行するための行動計画を公表し、中国证券监督管理委员会は、資本市場に対する調査結果に基づき資本市場改革対策をまとめる方針を示した。不動産関連では、北京市が住宅購入に関する制限緩和策を発表し、不動産大手・佳兆業や世茂に対する香港での清算審理開始延期が公表された。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日3,980億元に対して、リバースオペ7,500億元を実施し、3,520億元を供給。

(3) 主な経済指標

工業企業利益（1～5月）は、前年比+3.4%（1～4月、同+4.3%）と伸びを低下。鉱業がマイナス幅を縮小したが、自動車や汎用設備関係を中心に伸びが低下した製造業や電力・熱力等が全体を押し下げた。5月単月も前年比+0.7%（4月、同+4.0%）と伸びが鈍化。

② 資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.8890%	1.8000%	2.8000%	
1W	2.0990%	2.3000%	2.4400%	1.7500%
2W	2.1280%	2.0000%	1.9500%	1.8000%
1M	1.9000%	2.0000%	2.0000%	1.8000%
3M	1.9180%	2.3000%		1.8500%
6M	1.9790%			1.9400%
9M	2.0250%	2.2250%		1.9700%
12M	2.0490%	2.7800%		1.9700%

四半期末に向けて、中国人民銀行が資金供給を増額していることから、四半期末越えの金利の上昇は限定的で、ターム物は1年まで概ね2.1%前後で取引されているものの、出合いは限定的。

NCD市場も、四半期末を迎える週にも関わらず、金利水準は低位で安定している。四半期末要因剥落後のターム物金利は、1カ月が1.8%前後、3カ月も1.8%台半ば、6カ月以降は1.9%台後半で取引されている。

(2) 米ドル資金（本土内）

	BID	OFFER
ON	5.45%	5.48%
1W	5.55%	5.56%
1M	5.60%	5.70%
3M	5.70%	5.75%
6M	5.80%	5.85%
12M	5.90%	5.95%

中国国内市場では、引き続き取り急ぎは見られず、ターム物の出合いは限定的で、金利水準は、1カ月が5.6%台、3カ月が5.7%台半ばで取引されている。

③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.44%		1.79%	1.96%	2.12%
6M	1.45%		1.87%	1.90%	2.12%
1Y	1.54%	1.67%	1.97%	2.02%	2.17%
3Y	1.80%	1.97%	2.07%	2.14%	2.29%
5Y	1.98%	2.14%	2.15%	2.26%	2.41%
10Y	2.21%	2.37%	2.34%	2.48%	2.82%

米国債券市場は、金曜日のPCE、次週には独立記念日の祝日後に雇用統計を控える半期末の週とあって調整色の強い展開から上値の重い展開となる中、注目のPCE物価指数は予想通りインフレ鈍化を示す結果となったものの、フランス議会選挙や米大統領選のテレビ討論会結果、日本政府のドル売り介入原資調達としての米国債売りへの懸念等から、中長期の利回りが急上昇。中国債券市場では、四半期末にも関わらず資金流入が続いており、5年国債利回りが4年ぶりに2%を下回る等、歴史的低水準にある利回りが一段と低下する状況が続いている。この結果、10年米国国債利回りは4.40%（前週末比+14bp）に上昇する一方、10年中国国債利回りは2.21%（同-5bp）に低下したことから、利回り差は219p（同+19bp）に拡大を続ける結果となった。

中国債券のイールドカーブは、四半期末要因と世界的な債券利回り低下トレンドや国内経済の先行き懸念から、全体的に低下する傾向が続き、特に短中期利率債と信用債に買いが集まる結果となり、信用債ではフラットニングが一段と進み、クレジットスプレッドは短期での拡大が続いている。

④先物為替市場

	USD / CNY
1 M	-232.0 / -231.0
3M	-775.0 / -774.0
6M	-1,490.0 / -1,488.0
9M	-2,238.0 / -2,237.0
12M	-2,962.0 / -2,960.0

対ドル基準レートは7.1268と前週末比+72pipsのドル高元安、対円基準レートも4.4738と同-444pipsの円安元高と、対ドルでは依然として大幅な元高水準での設定が続いているものの、緩やかに元安方向に調整する設定が続いている。中国国内市場では、季節的なドル需要や投資資金の流出が続いている模様であり、7.27に迫るドル高元安となっている。

先物は、四半期末を前に米中ともに金融政策見通しに大きな変化がなかったことから、1年物が-2900台半ばでの小幅な値動きに終始する状況に変化なし。

⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	1.90%		1.70%
6M	1.88%	1.91%	1.69%
9M	1.85%	1.94%	1.68%
1Y	1.84%	1.93%	1.68%
3Y	1.85%	1.95%	1.75%
5Y	1.97%	2.07%	
7Y	2.07%	2.18%	
10Y	2.16%	2.28%	

金利スワップ市場では、債券利回りの低下と短期の基準金利の上昇から、短期は横ばい、中期以降が低下することとなったが、債券利回りがやや大幅に低下していることから、スワップスプレッドは拡大している。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入